

新宮山彦ぐるーぶ第1972回-3
春季連休中持経宿への来宿者の対応と

補修作業(平治宿・水場径段差補修)

◇実施日：平成30年5月03日(木)～05日(土)

◇参加者：豊嶋 寛、樋口義也、久保義満、前田 正。 計4名。

5月03日(木・祝) 曇り後晴。(来宿者3名)

和歌山から昔の山仲間の久保さんが来てくれて懐かしかった。豊嶋車に4人乗り、通行止め解除したばかりの池郷林道へ。池郷林道ゲートからは、やはり落石を拾いながら進むが、千年檜下辺りで、倒木が道一杯に塞いでいる。4人で処理していると村吉さんが来てくれた。

村吉さんは、帰りしなに平治谷より70ℓの水を補給して下さい有難い。

私も昼には少し早いので持経宿水場を見に行くと、水場手前で大きな土石崩れしていたが、どうにか車は通れそうだ。時間があれば改修出来るが、次回にして小屋に戻る。

豊嶋さん達も小屋番の準備で忙しそうで、やっと昼食に。

昼からは、平治宿小屋へ。低気圧の発達で大変風が強く寒い。

新緑は今が一番の見頃で赤いツツジやヤシオツツジ等が美しい。

平治宿に12時45分に到着し、水場を点検する。

水は豊富に流れているが、途中の道が悪くなっており歩きづらい。仕方なく小さな鉄ハシゴ迄の段差を補修し、15時前に作業を終了する。帰りは山菜の王様と言われる「コシアブラ」を採り、夕食の一品にする。

今日の来宿者は3名でゆったり。夜も風が強く寒かった。

行動タイム

新宮8:10→大泊8:45→10:50持経宿(昼食)11:45→12:45平治宿→水場点検・水場径補修→平治宿15:00→16:00持経宿。消灯20時。

5月04日(金・祝) 晴。(来宿者4名)

今日は、俱利迦羅岳方面に行ってみるが、昨日より風が強く冷えて込んで寒い。転法輪岳より下って俱利迦羅岳少し手前迄行って転法輪岳に戻り昼食とする。

平治宿に戻り、時間的に余裕があるから大ハンマーを持って、水場径下部の補修に下りる。岩が多く鉄筋が入らないため、残念ながら完全に補修出来なかった。

16時頃に持経宿小屋に戻り、行者堂の掃除をする。

今夜は、宿泊者なし。登山者は通過して平治宿かテント泊の様である。去年は、多くの人で賑わったそうで、さみしい限りだと思ったら、20時前に3人パーティと単独行の人で4人宿泊した。

単独行の人は、調子が悪くて、3人が一緒に同行して助けながら歩いたので、遅くなったみたいだ。

昨日は寒くて寝不足気味だったので、ストーブを焚いて暖かく登山者にも喜ばれる。

行動タイム

持経宿8:00→平治宿9:00→10:00俱利迦羅岳(手前)10:15→10:40転法輪岳(昼食)11:30→12:50平治宿→水場径補修→平治宿15:00→16:00持経宿。消灯22時。

5月05日(土・祝) 快晴

単独行の人は、足が悪く縦走は無理なようで、私達の車に便乗して池原「きなり湯」へ送る事に決めた。

私と樋口さんは、千年檜前の「莊川桜」柵内の笹を切り、幟旗を撤収する。樋口さんは、桜の柵内は大きな選定鉄でやった方が簡単だろうと・・・。久保・豊嶋さんは、小屋内を片付けてもらい、早々に終り8時15分には下山した。

行動タイム

持経宿8:15→9:25池原スポーツ公園9:40→11:00新宮。(記：前田)